

創立二十周年記念シリーズ

第83回定期演奏会

日本音楽集団

室内楽の夕べ

時 一九八四年六月十二日 七時開演
所 芝abc会館ホール (地下鉄三田線芝公園下車)

プ

花と風

作曲……中村滋延

尺八Ⅰ 福田輝久

Ⅱ 米澤浩

箏Ⅰ 滝田美智子

Ⅱ 内藤久子

十七絃 内藤洋子

打楽器 尾崎太一

堅田啓輝

ロ

坐楽

（ざがく）

作曲……水瀬博彦

篠笛 竹井誠

尺八Ⅰ 米澤浩

Ⅱ 素川欣也

箏Ⅰ 花房はるえ

Ⅱ 内藤久子

十七絃 島崎春美

三絃 野口美恵子

琵琶 田原順子

折楽器 尾崎太一

堅田啓輝

ゲ

休憩

ラ

雨月譜

作曲……吉松隆

尺八 三橋貴風

十七絃 木村玲子

纏

（まきん）

作曲・指揮……新実徳英

篠笛・能管 西川浩平

竹井誠

尺八Ⅰ 福田輝久

Ⅱ 藤崎重康

三絃 太田幸子

箏Ⅰ 吉村七重

Ⅱ 木村玲子

Ⅲ 内藤洋子

十七絃 滝田美智子

打楽器 尾崎太一

堅田啓輝

指揮 新実徳英

ム

行

（ぎょう）

作曲……伴谷晃一

篠笛 藤崎重康

琵琶 半田淳子

【演奏】……日本音楽集団 【客演】……新実徳英

花と風

私はずっと以前から「花と風」という言葉を、自作のタイトルにしたいと思いつけてきました。私にとって、般若心経の「色即是空」「空即是色」の教えを最も直接に情緒に訴えかけてくるのが「花と風」という言葉です。

この「花と風」を最初からタイトルに決めて曲を書いてやろうと居直った時、私の中に全く自然に聞こえてきたのが、尺八と箏の音でした。これらの音は小賢しい私の思念を越えて、独立独立歩、自由に花にも風にもなり切つてくれます。それらを選びとって聴くよりも、より広い世界に私を導いてくれる状態で聴くことを何よりも私自身が強く欲したのでです。

最後に、今回、再演の機会を与えて下さった日本音楽集団に、心より感謝申し上げます。

中村滋延 ●プロフィール

音楽と社会との関わりを考えて、シアターピースの制作、演奏会の企画、音楽教育にも取り組む。

行ぎょう

この曲は、一九七八年に初演されて以来、「日本音楽展82」「JMF・日本伝統楽器アンサンブル・フランス公演」や「現代の音楽（NHK・FM）」他で再演されました。

編成は、篠笛（本調子）及び能管、薩摩琵琶です。中でも、一本調子の篠笛は最も音が低く、幅広い豊かな音色をもっています。

行とは、仏教用語で過去世に於ける行為や仏道の修業を意味します。私は、笛と琵琶の対話する様相から、人間の情念の世界を表現できればと思いました。

この度の定期演奏会に際し、古典から現代曲まで幅広いレパートリーをもつ日本音楽集団が、伝統音楽の継承を踏まえつつ、今後、より一層発展されることを切望します。

伴谷晃三 ●プロフィール

琵琶を伴う語りの世界、西チベットの仏教壁画マンダラの世界などの心象スケッチが、私の創作の出发点であり、また帰結点でもある。

たいあいさつ

本日はお忙しい中、お出かけ下さりましてありがとうございます。

今回は邦楽器に魅力を感じておられる若手作曲家の方の作品の中から、日本音楽集団の作曲公募入賞曲二曲を含む五曲で構成いたしました。

スタンダード・ナンバーを創ることは

私共が行なっている事の中でも一番大切な事のひとつです。

音楽集団は過去二十一年間に作曲家の方々と協力しつつ

貴重なレパートリーをつくり上げてまいりました。

二十周年を機にこれからまた新たな気持ちで

未来に翔はばたきたいと思っております。

最後に一言、文章を下された作曲家の方々はじめ皆様の暖かい御助力をいただきました。誠にありがとうございます。

吉村七重

第八十三回定期実行委員会

坐楽ざがく

坐楽とは、立楽に対するもので十七世紀の半ば頃、魏九官が日本に伝えた明楽にあつて、十人前後の種類の異なる楽器の組み合わせによる合奏の様式をいいます。

曲は、狭い音域の中で刺繍音的に動く旋律が全体を通じて繰り返してきます。それが一つは聴衆に、大陸的でシルクロード風な印象を与える由縁かと思われれます。

今回は、指揮者なしのことで、それだけに若い演奏家個々の自由な音楽性が、アンサンブルのそれぞれの役割の中でどの様に織りなされ、発揮されるか大変興味深いものが有ります。

永瀬博彦 ●プロフィール

一九五一年生れ。東京音楽大学作曲科卒。坐楽は、作曲家最初の邦楽曲。第四回日本音楽集団作曲賞第一位入賞。第一回インターアーツ・フェスティバルの時、米国ハワイ大学に於いて海外初演された。

纏まと

この曲は一九八一年に日本音楽集団公募による作曲賞をいただいたのだが、作曲年は一九七六年である。

〈纏〉というタイトルは音群が互いに纏りつく、絡みつく、というところからきている。

このタイトルをフランス語に訳したのが〈アンラサージュ〉—ENLACÉ—、これはI—IVまでのシリーズとなっている。〈纏〉を加えると計五曲ということになる。

編成は篠笛2（能管持替え）、尺八2、三絃1、箏3、十七絃1、打楽器2、のフル編成で、演奏時間は十五分内外である。

新美徳英 ●プロフィール

これまで発表した曲でレコードや譜面の形で残っているもの、また残すつもりでいる曲は細かな小品を除き、管弦楽曲3、邦楽曲7、室内楽曲打楽器アンサンブル・ソロを含む6、ピアノ組曲2、ミュージカル1、歌曲集2、合唱（組）曲19の計40である。このうち一九八〇年以降に26曲、我ながらあきれた。

吉松隆 ●プロフィール

作家というのにはすべからず独り無人の荒野を行くものと知るべし。とすれば、世の無理解を笑いつつのたれ死にをする事こそ本分。ただし己年・魚座のB型。推して知るべし。

雨月譜

雨はれて月おぼろにかすむ夜、座敷のあかり窓の下にて編みつくり、梓氏に渡す。題して雨月物語と云う。（上田秋成「雨月物語」序文より）

曲は春、夏、秋、冬の四枚の譜より成り、尺八と十七絃とが雨と月の如く各固有の軌跡を描きながら重なってゆく。

春はあけぼの、旋律の重なり。夏は夜、ノイズの交錯。秋は夕暮れ、風鈴を伴う尺八の独奏。そして冬は早朝、凍ってゆく低絃のオスティナート。

一九八〇年夏作曲。同年秋、菅原久仁義氏の尺八リサイタルにて初演。

ファンタステックに日本の響きが鮮烈に甦る!

6月27日発売

Rハステックに日本の響きが鮮烈に甦る!

ファンタジックRハステック



●コロムビアレコードグループ

鹿の遠音 / 独ヶ島の雨 / 椰子の美 / 月の光 / 簫笛の踊り / ヘルシヤの市場にて / ムーンライトセレナーデ / 真珠の音節 / イン・ザ・ムード / スペースファンタジー (夜空の情景 - 火星 - 木星 - 金星 - 天王星 - 木曜) / 陽気歌 / 地球の赤い / コンバクトディスク 35C33-7174 ¥3,500



城ヶ島の雨 / 椰子の美 / 月の光 / 簫笛の踊り / ヘルシヤの市場にて / ムーンライトセレナーデ / 真珠の音節 / イン・ザ・ムード / スペースファンタジー (夜空の情景 - 火星 - 木星 - 金星 - 天王星 - 木曜) / 陽気歌 / 地球の赤い / コンバクトディスク CTV-9092 ¥3,000



●カセットテープ
三橋貴風、福田輝久、藤崎重康、田嶋直士
〈竹井 誠、米澤 浩、栗川 欣也、水谷 雅康〉



伝統に便利さを加えて



日本音楽集団推薦 琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15

TEL.03-792-8481

——当店のすべての商品にクレジットがご利用いただけます。